

令和3年度 学校評価書

学校名 岐阜市立岩野田小学校

市の重点項目	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
全職員や地域コミュニティとの協働による積極的な指導体制を確立し、「チームとしての学校」を実現する	・土曜授業の場を生かし、地域の人や保護者の方との協同学習の場を増やしていく。 ・学校運営協議会等で、広く「いじめ」に関する取組や実態を報告し、多くの大人の力を借りて、「いじめ」の減少、撲滅をめざす。	B	・全部で5回の土曜授業を計画したが、そのうち3回が中止となってしまい、予定や計画をしていた地域との協同学習の場が、保障されずに残念であった。 ・年間3回の学校運営協議会を計画していたが、うち2回が紙面開催となってしまい、交流の場が十分にもてなかつたのが残念であった。	・学校運営協議会の折に、子供たちの様子を見させてもらったが、とても落ち着いて学習に取り組めている。 ・岩野田小学校では、今のところ、大きないじめはないと聞いている。この状態を、これからも維持して欲しい。	・今年度に引き続き、土曜授業の意義や意味を再確認し、各学年の実態に応じて、有効な学習活動を計画していく。 ・いじめに対する情報は、学校から地域へ、地域から学校へのどちらの流れでも、確実に迅速に行えるようにする。
学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた社会に開かれた教育課程を編成・実施・評価し、教育効果の最大化を図る	・本校の学習面での課題を踏まえ、朝の活動(学習)の場での「繰り返し学習」を徹底するとともに、毎日の授業では、自分で考え、判断する活用の学習を工夫する。 ・主体的・対話的で深い学びができるように、成果を数値で評価し授業改善を図る。	B	・朝の活動の時間の工夫をする計画でいたが、発声練習や暗唱などを十分に行うことができなかった。 ・対話的な学習にも力を入れたかったが、コロナ禍の中で、思うように仲間との対話的な学習は十分に位置付けることはできなかった。	・PTAからは、朝学習用の教材の支援も考えているので、状況が整い次第、実施して欲しい。	・朝の活動の時間については、ねらいや付けたい力を明確にした上で、適切な学習活動やすぐれた教材選びから始めていきたい。 ・特に、「自分の考えをもつ時間」と「相手の考えを聞く時間」、そして、「自分の考えをまとめる時間」を大切に、主体的・対話的で深い学びができるようにめざす。
幼保小連携や小中一貫の考えのもと、ソーシャルキャピタルを活用した学校づくりを推進する	・幼保小や小中間の連携を図り、人材や環境を生かした、切れ目のない支援や教育ができるように努める。	B	・中学校との連携はある程度できたが、幼保との交流が十分することができなかった。 ・この後も、来年度の学級編制などにも向け、幼保等と連携を取るチャンスがあるので、連携を密に取っていきたい。	・保育所を卒園して行った子供たちが、小学校でも頑張っている姿を見られて、大変嬉しいことである。	・来年度も、コロナの影響を受けることも予想されるため、なかなか有効な方法もないが、定期的に情報交換ができるような方法(メールやオンラインなど)を模索し、連絡を深めていく。
教育環境と学校財務環境を整備・管理し、有効に運用する	・一人1台のタブレット端末の活用をはじめ、ICT機器を活用して、学習意欲や知的好奇心を高めるための環境づくりとその方法を探究する。 ・安全点検を確実に実施し、その結果を踏まえて速やかに修理・修繕を行い、安全・安心な環境づくりに努める。	A	・昨年度に比べると、児童も教職員も、随分、ICTにかかわるスキルを上げることができ、色々な場面で、色々な方法で活用することができるようになってきている。 ・安全点検を確実にを行い、その後、校内で対応するものと市への要望書を出すものとを別して、役割分担をしながら、迅速に対応することができた。	・学校運営協議会の時に授業参観をさせて貰った時に、児童も教師も、授業の中で、様々な教科や学習活動で活用しており、タブレットの活用が定着しているのが、よく分かった。 ・校内を見ると、様々なところに、安全面での配慮がしてあり、児童の安全のため、努力している姿が伝わってくる。	・現在、色々な媒体で行われているICT上の作業が、段々Te-comp@ssに集約されていくため、それらのスキルを上げ、有効に使える方法を模索していく必要がある。 ・定期点検と日常の点検の精度を上げ、危険な場所や箇所を早く見つけ、迅速に対応していけるようにする。
災害や事故等、多種多様な非常事態に対する安全性の確保をする	・命を守る訓練、DIG、防災オリエンティング等の学習活動の場を中心として、「自分の命は自分で守る」ことができる力を身に付けさせる。 ・学校からの各種通信、メール配信やホームページなどを有効に利用して、タイムリーで必要感の感じられる情報発信を行う。	A	・第4回土曜授業として、「防災オリエンティング」を行い、町づくり協議会を始め、消防署、消防団、水防団、青少年市民協議会等の協力を得て、防災にかかわる知識と意識の向上に努めることができた。 ・各学年の行事等を中心にして、ホームページで紹介することができた。	・子供たちと地域の人々が一緒に、「防災」という一つのテーマの元に集まり、協働的な学習をすることに、大変意義を感じた。 ・保護者や地域の人々が、学校に行けない分、もっと学校ホームページ等で紹介して欲しいという声も聞くので、頑張りたい。	・地域がまとまるのに、「防災」というテーマで一つになるということの大切さや有効性が確認されたため、引き続き、形を考えながら、「防災」については、続けていきたい。 ・学校ホームページに上げる、期間や回数、の目処を設け、それをクリアしていくようにする。